MCZ

木質バイオマス燃料 ペレットストーブ

STAR(スター)

強制排気形半密閉式ペレットストーブ

取扱説明書

このたびは本品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

■ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しく使用してください。
この「取扱説明書」は、大切に保管しておいてください。

■このストーブは弊社標準施工例(P6)などに基づいて、給気筒・排気筒を必ず取り付けてから使用してください。
給気筒・排気筒の据付け・移設工事は必ず販売店、または弊社指定店などに依頼してください。
給気筒・排気筒を取り付けずに使用すると一酸化炭素中毒に至るなど重大な危険となるおそれがあります。

地球にやさしい
TOYOTOMI
ペレットストーブ

安全のために必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

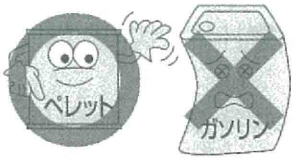
	この絵表示は、「禁止」されている内容です。
	この絵表示は、「注意」していただく内容です。
	この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

⚠警 告(WARNING)

★使用燃料は木質ペレット以外厳禁

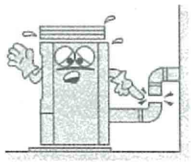
燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対に入れないでください。
火災の原因になります。



禁止

★外れ危険

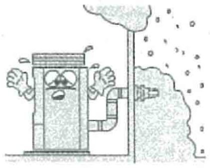
給気筒・排気筒が正しく接続されているか必ず点検してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



確認

★給気筒トップ・排気筒トップ閉そく危険

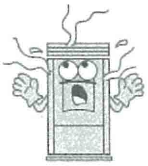
積雪の多い地方では、給気筒トップ・排気筒トップが雪でふさがれないように注意してください。
排ガスを再度吸込んで異常燃焼を起こすことがあります。



注意

★かん合部の外れ危険

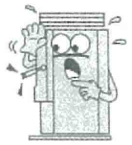
灰トレイや燃料タンク扉などが確実に閉まっているか確認してください。
外れ・すき間があると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。



確認

★燃焼窓開放厳禁

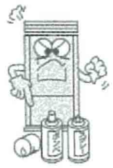
燃焼窓が確実に閉められていることを確認してください。
燃焼中、外れ・すき間があると排ガスや炎が室内に漏れて、火災が発生するおそれがあります。



禁止

★スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、ストーブに近付けたり、周囲に放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



禁止

⚠警告(WARNING)

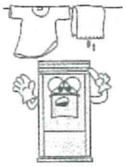
★温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口をふさがないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

禁止

★衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。
落下した衣類に火がつき、火災の原因になります。



禁止

★ライター・マッチ等で着火しない

やけど・けがの原因になります。

禁止

★着火剤は使用しない

やけど・けが・火災の原因になります。

禁止

★本体や内部には水をかけない

ショート・故障・感電・さびの原因になります。

禁止

★災害・停電時は、電源を切り窓を開けて換気をする

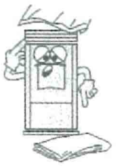
この機械は電気式です。停電時は排気ファンがとまったり、煙が出ることがあります。
このような時は、あわてずに窓を開けて換気してください。

指示

⚠注意(CAUTION)

★カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは、使用しないでください。
ストーブ周辺に可燃物を置かないでください。
火災の原因になります。



禁止

★やかんのせ禁止

やかんなどをのせないでください。
振動や接触によって、やかんの落下や、やかんの熱湯がこぼれ、
やけどのおそれがあります。

禁止

★排気筒延長時の注意

排気筒を1m以上延長する場合は設置条件によってストーブ内の調節が必要となることがあります。販売店にご相談ください。
そのまま使用しますと、異常燃焼の原因となります。

注意

★燃料供給時消火

燃料供給は、必ず消火してからおこなってください。
火災ややけどのおそれがあります。

消火

★指や異物を入れない

ストーブの内部や燃焼室内及び上面、燃料タンク内には紙、布、プラスチック、スプーンなどの異物を入れないでください。
火災や感電、予想しない事故の原因になります。

禁止

★異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
運転スイッチを押して「切」にしてください。
異常燃焼のおそれがあります。

使用禁止

- 点火不良で、何回も点火操作をした後、燃焼バーナー内に燃料が溜まり、点火しにくいことがあります。一度溜まった燃料を取り出して処分してから再点火してください。
- 万一ストーブから火が出たり、床などに火がついたときは、あわてずに消火器で消火してください。

★高温部に注意

燃焼中や消火直後は、燃焼窓や天板などの高温部に手や顔などを近づけないでください。
やけどのおそれがあります。

高温注意

★高温部接触禁止

温風吹出口、排気筒、排気筒トップなどは高温になります。
手などを触れないでください。
やけどのおそれがあります。

接触禁止

★回転体に注意

運転中の燃焼タンク内などに手などを入れないでください。
回転物にはさまれ、けがのおそれがあり大変危険です。

注意

⚠注意(CAUTION)

★推奨外燃料の使用禁止

木質ペレット以外の固形燃料などは絶対に使用しないでください。
故障や燃焼不良の原因になります。
推奨以外の燃料の使用はストーブに支障をきたす場合があります。

禁止

★燃料たまり点火の禁止

バーナー内に燃料をためた状態で点火させないでください。
不完全燃焼や故障の原因になります。

禁止

★燃料保管方法の注意

雨風の当たらない屋内で保管してください。
湿った燃料を使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。

注意

★保管時にしていただくこと

長期間使用しないとき、又は保管するときは、必ず燃料タンク内から燃料を抜き電源プラグをコンセントから抜いてください。

指示

★長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や予想しない事故の原因となります。

電源プラグを抜く

★分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理は危険です。

分解禁止

★電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。
ほこりや異物がたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

指示

★電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、傷付けたり、束ねたり、物をのせたり加工しないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。

禁止

★電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。感電の原因になります。

指示

★腰をかけたり物をのせない

ストーブの上にのったり、腰をかけたりしないでください。ストーブの故障ややけどのおそれがあります。

禁止

⚠注意(CAUTION)

★お子様やお年寄りのご使用に注意
お子様やお年寄り、体の不自由な方がお使いになる場合は、やけどや、部屋の換気などについて、周囲の人が充分に注意してください。

指示

★廃棄するとき
製品を廃棄処分するときは、必ず燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。(31ページ参照)
燃料が入ったまま廃棄するとリサイクルの際思わぬ事故が発生するおそれがあります。

指示

★温風に直接あたらない
温風や輻射熱に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや、脱水症状になるおそれがあります。
温風を直接吸い込まないでください。気分が悪くなることがあります。

禁止

★改造使用の禁止
改造して使用しないでください。
火災や、排ガスが室内に漏れる原因となり、危険です。

禁止

★換気扇使用禁止
ストーブを使用している時は室内で換気扇を使用しないでください。
異常燃焼や、立消えするおそれがあります。

使用禁止

★排気筒トップ付近の可燃物近接禁止
排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。
火災のおそれがあります。

禁止

★可燃性ガス使用禁止
ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

使用禁止

★お手入れの際は、ストーブ及び排気筒が冷えてからおこなってください。
やけど、けがの原因になります。

注意

★ストーブの表面のお手入れには研磨剤の入ったクレンザーなどは使わないでください。
塗装のはがれ、サビの原因になります。

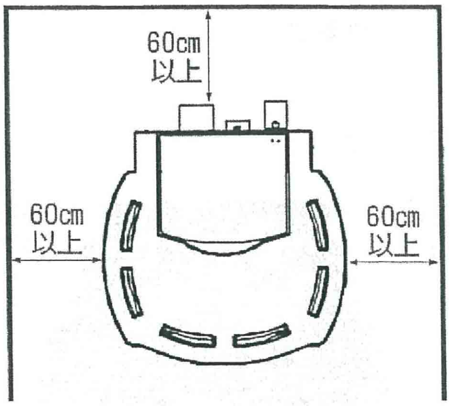
禁止

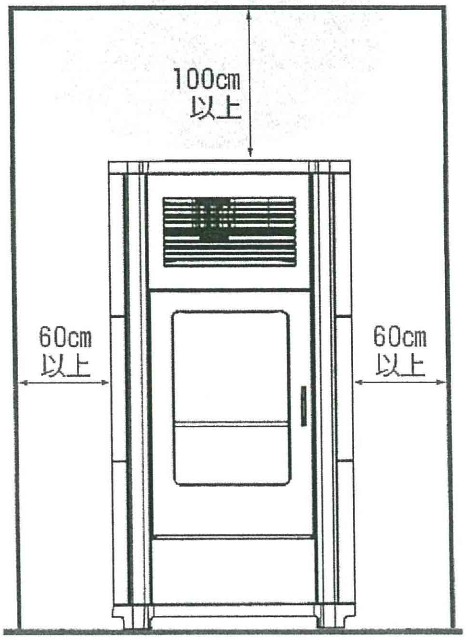
⚠注意(CAUTION)

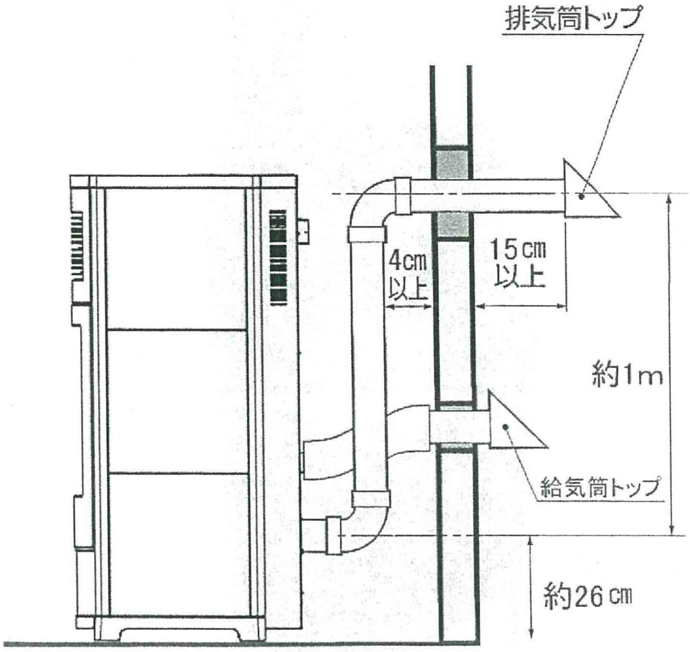
★可燃物(木壁、合板、ふすまなど)との距離を離す

距離

- 据付けや移設工事は火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準を守っておこなってください。
- 据付けや移設工事は、販売店または弊社指定店に依頼してください。
- ストーブから周囲の可燃物までの隔離距離は下図のようにしてください。
- 上方の棚などからの落下物がないようにしてください。
- 特に、カーテンなどが本体にふれないようにしてください。
- 家具等からは充分な距離をとってください。熱で変形や変色、自然発火することがあります。







〜弊社標準施工例〜

使用する場所

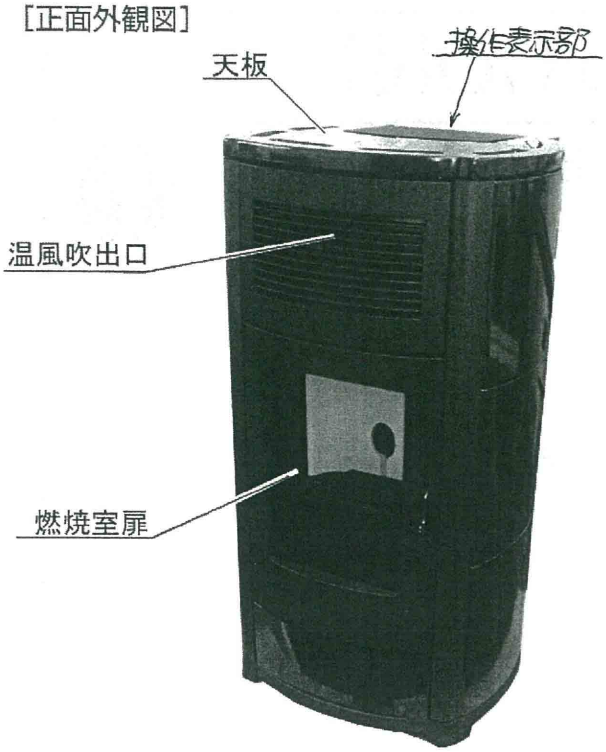
★効果的に使用するために

- ストーブの送風ファンの送風レベルを上げる程、対流効果によってお部屋の温度のムラが少なくなり、効果的な暖房ができます。

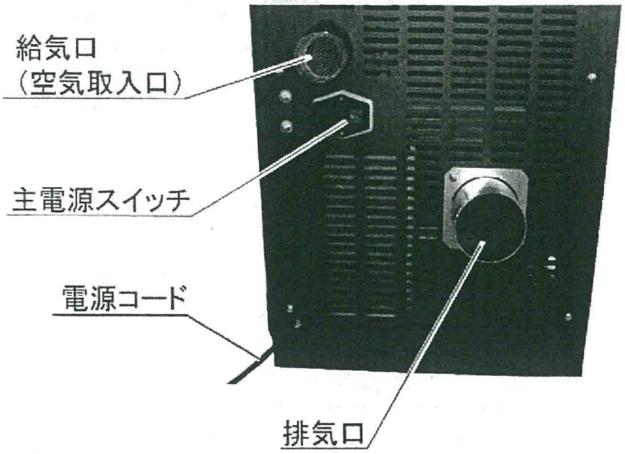
各部のなまえ

※写真は「CLUB」ですが、基本構造は同様です。

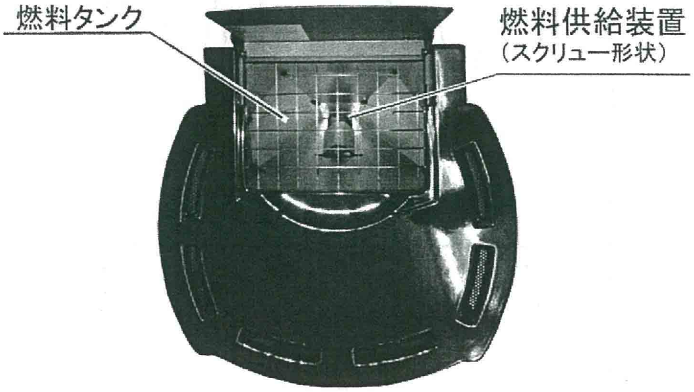
[正面外観図]



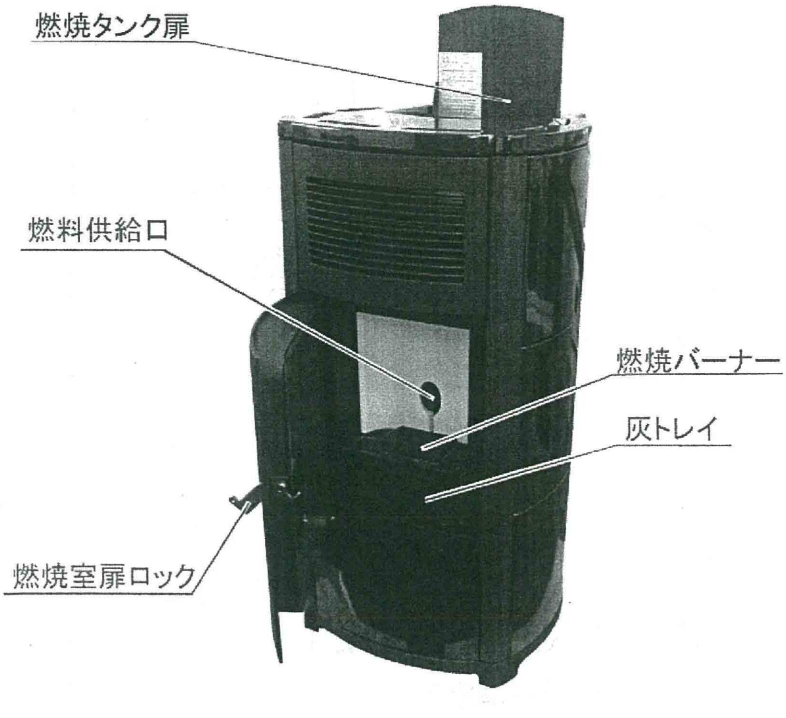
[背面外観図]



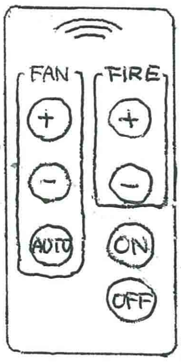
[燃料タンク内]



[内部構造図]



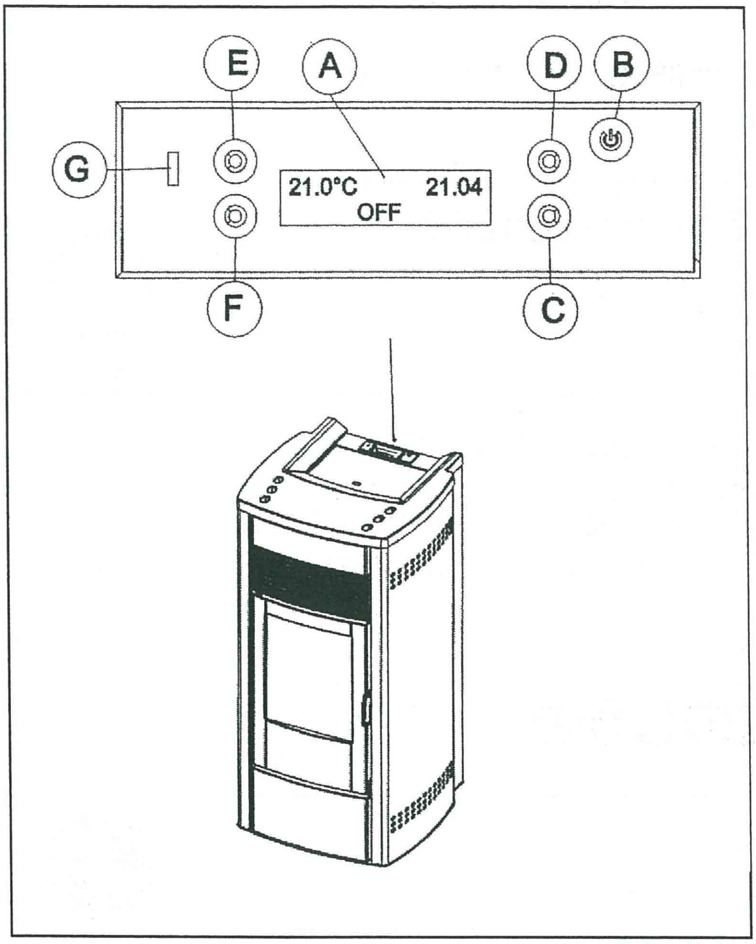
[付属品]



リモコン

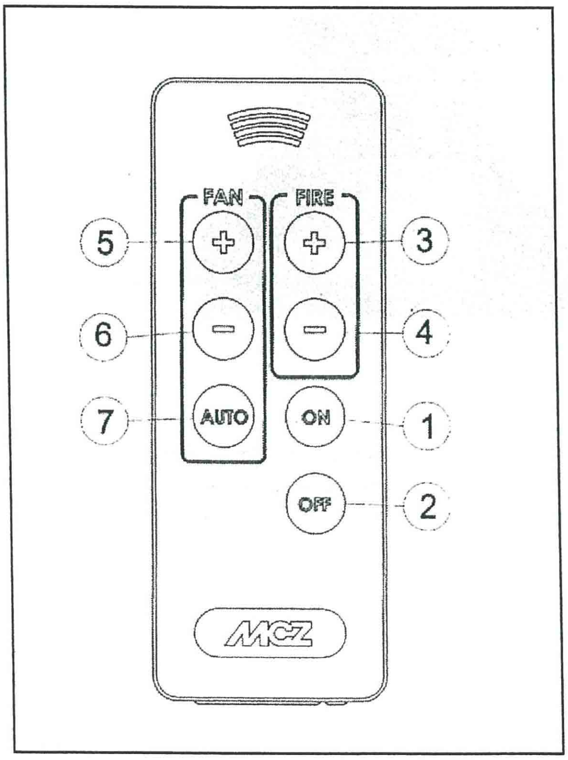
燃焼室扉開閉用器具

操作表示部



A：電光表示部
B：運転スイッチ
C,D,E,F：各種設定操作用ボタン
G:リモコン受光部

附属品のリモコン　※使用電池は、リチウム電池 CR2025　1ケ



1：運転スイッチ ON ボタン
2：運転スイッチ OFF ボタン
3：火力レベル調節ボタン「＋」
4：火力レベル調節ボタン「—」
5：送風レベル調節ボタン「＋」
6：送風レベル調節ボタン「—」
7：送風レベル自動運転ボタン

お使いになる前の準備

木質ペレットについて

◉木質ペレットは、推奨燃料を必ず使用してください。

［推奨燃料］ホワイトペレット

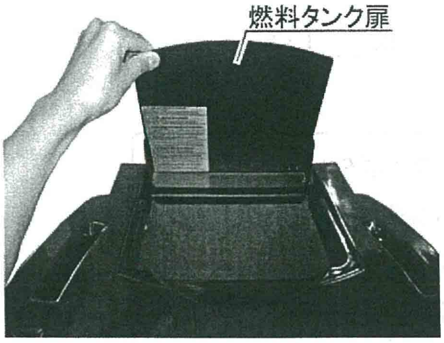
⚠警告	★使用燃料は木質ペレット以外厳禁 燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対に入れないでください。 火災の原因になります。	禁止

●燃料は、ストーブ側面に記載されている推奨燃料を必ず使用してください。
●推奨以外の木質ペレットの使用はストーブに支障をきたす場合があります。
●木質ペレット以外の固形燃料などは絶対に使用しないでください。故障や燃焼不良の原因になります。
●ペレットが粒子状に崩れた粉の多いもの、湿気を帯びたものは、使用しないでください。燃焼不良の原因になります。
●燃料タンクを空にしないように注意してください。

供給のしかた

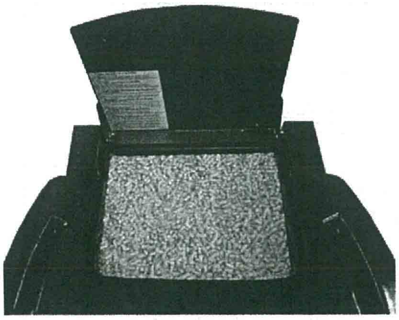
⚠注意	★燃料供給時消火 燃料供給は、必ず消火してからおこなってください。 火災ややけどのおそれがあります。	消火

1 燃料タンク扉を開ける。



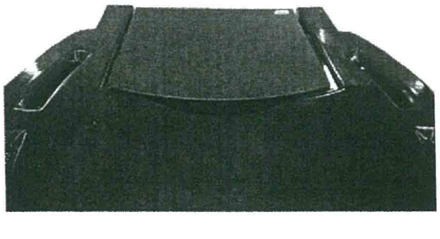
2 燃料タンク内に燃料を投入する。

●燃料タンク上面1㎝付近まで投入する。
●燃料は燃料タンク内に均一になるようにならしながら投入してください。不均一の場合、正常な燃焼をしないことがあります。



3 燃料タンク扉を閉める。

燃料タンク扉が確実に閉まっているか確認してください。



※図は「CLUB」ですが構造は類似です。

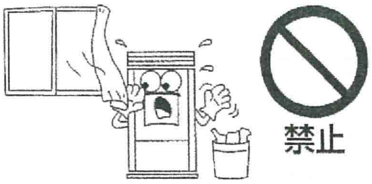
点火前の準備と確認

お願い

●燃料タンクは空にしないでください。
タンクが空になるまで燃焼させるとすすの発生や燃焼不良の原因になります。
●設置後初めての使用するとき、または燃料を切らし燃料を補充して再点火操作したときなどは、「燃料供給口」から燃料がでてくることを確認してください。

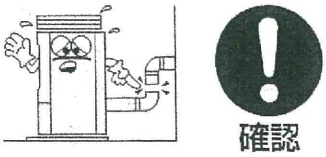
1 ストーブ周辺を確認する。

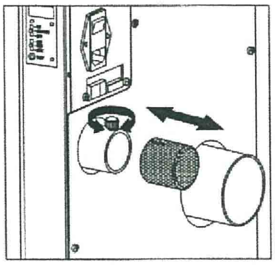
●ストーブ周辺及び排気筒の周囲に引火物や可燃物を置かないでください。
火災や予想しない事故の原因になります。



2 給気筒・排気筒が接続されているか確認する。

●給気筒・排気筒が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。
「運転スイッチ」を「切」にして、正しく接続し直してから再度「入」にしてください。

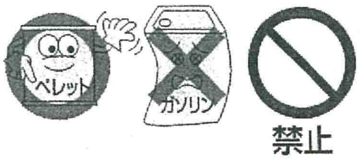




給気口の構造(屋外から給気を取らない場合)

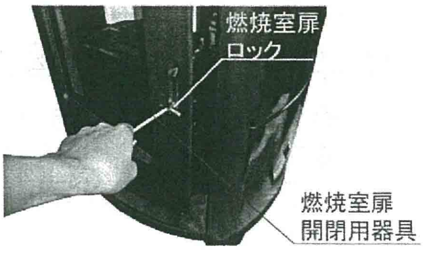
3 燃料が入っているか確認する。

●燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対に入れないでください。
●木質ペレット以外の固形燃料は絶対に使用しないでください。
故障や燃焼不良の原因になります。
●推奨以外の燃料の使用はストーブに支障をきたす場合があります。
●長期間使用しなかった燃料が燃料タンクに残っていた場合、湿気を含んでいることがありますので、除去してから新しい燃料に入れ替えてください。



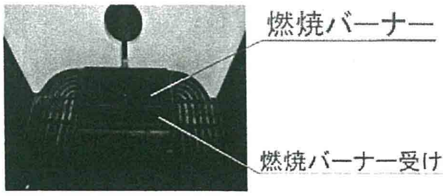
4 燃焼室扉開閉用器具を燃焼室扉ロックに取り付け、燃焼室扉を開く。

●同梱の燃焼室扉開閉器具を右図のように取り付けます。
●器具を手前に引き、燃焼室扉を開きます。



5 燃焼室内を確認する。

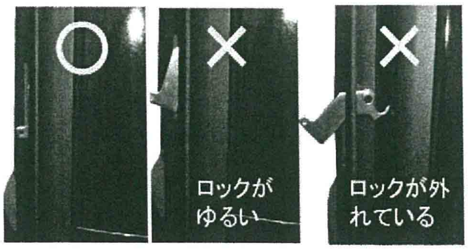
●燃焼室内に異物がないか、また極度の汚れや灰がないかを確認してください。燃焼バーナーの穴が詰まっていないかを確認し、燃焼バーナーを燃焼バーナー受けに正しく取り付けてください。



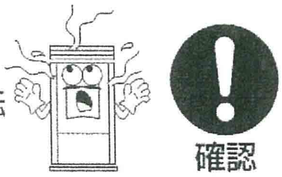
6 燃焼室扉を閉める

●4項で開いた燃焼室扉を器具で扉を押しながら閉めてください。

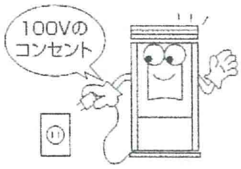
7 燃焼室扉が閉まっているか確認する。



●燃焼室扉を確実に閉めてください。
●外れ・すき間があると点火不良、燃焼不良を起こしたり、運転中に排ガスや炎が室内に漏れて火災が発生する恐れがあります。



8 電源コードを本体背面の差し込み口に差してから、電源プラグを電気のコンセント（家庭用AC100V）に確実に差し込む。



●電源は必ず100Ｖ７Ａ以上の専用コンセントをお使い下さい。

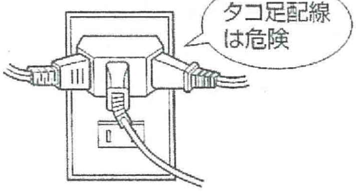
お願い

★電源プラグを、絶対に、200ボルトのコンセントに差し込まないでください。感電･火災･故障の原因になります。

★コンセントがゆるんでいたり、差し込みが不充分ですと、電源プラグが過熱し、熱変形することがあります。
このようなときは、必ずお買い上げの販売店に修理を依頼してください。
お部屋のコンセントも必ず修理してください。

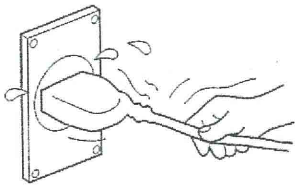
★電源コードに傷を付けたり、束ねたり、折ったり、重い物をのせたり、加工しないでください。感電や火災の原因になります。

★他の電気器具と同時に使用するときは、ご家庭の安全器（ブレーカー）の容量をこえないようにしてください。



禁止

★電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。断線、発熱、発火の原因になります。



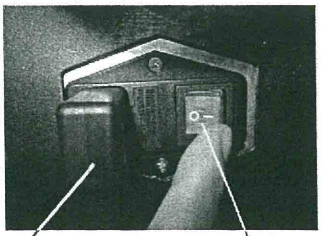
禁止

★熱に弱いじゅうたんや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがありますので、熱に強いマットなどを敷いてください。

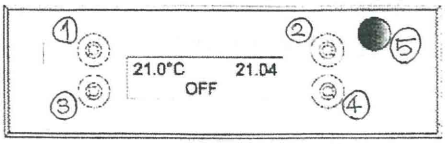
注意

9 本体背面の主電源スイッチを「｜」にする。

●本体の背面にあります主電源スイッチを「O」から「I」にします。
●スイッチのバックライトが点灯し、側面の手動操作部の3桁表示部が「OFF」と表示することを確認してください。

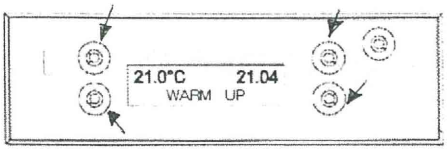


☆点火のしかた（運転開始のしかた）



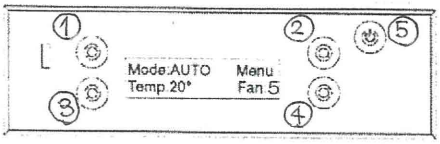
ボタン⑤（運転スイッチ）を１秒以上長押しして離してください。「ピー」っと音が鳴り、「WARM　UP」と表示します。初期運転（18～20 分間）が始まります。
※このときは、一定運転しかできません。

↓



４つのボタンのどれかを押してください。

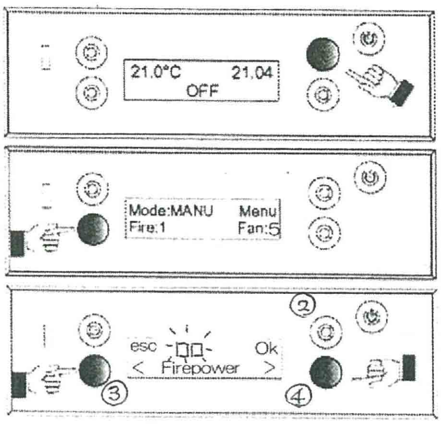
↓



ボタン①を押すたびに「Auto（火力自動運転）」→「Manu（火力手動運転）」→ … と変化します。

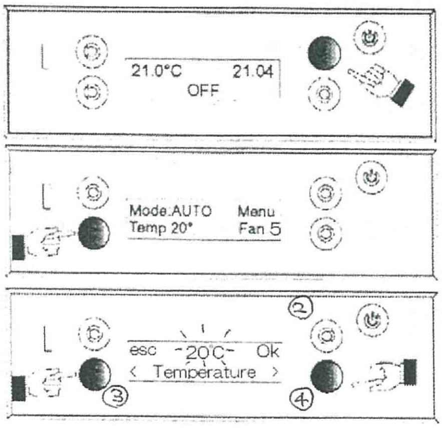
☆火力調節（温度調節）のしかた

上図表示で、ボタン③を普通に押すと、「Auto」時は、設定温度が１℃ずつ上がります。
「Manu」時は、火力レベルが１ずつ上がります。
長押しすると、それぞれ次のようになります。



マニュアル（手動運転）モード

ボタン③④を押して、火力レベルの増減を設定してからボタン②の「Ok」で確定してください。



自動運転モード

ボタン③④を押して、設定温度値を設定してからボタン②の「Ok」で確定してください。

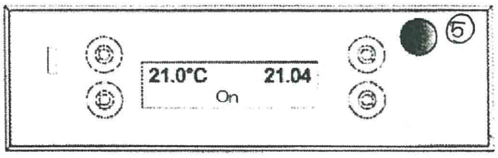
☆送風調節のしかた

前頁のボタン④を押すたびに、送風レベルが「1」→「2」→…→「5」→「A」(Auto：自動)→「1」・・・となりますが、部屋の暖房を効率よく行なう為に「5」で常時お使いになることをおすすめします。

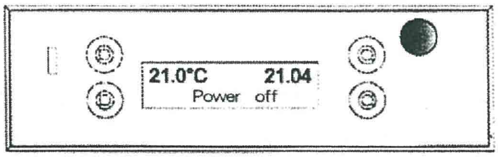
※注）特に送風レベルが「1」もしくは「2」で使用した場合は、状況によっては「A03」や「A04」のエラーメッセージが出て、途中停止することがあります。

☆消火のしかた

ボタン⑤を運転中に普通に押しますと、バックライトが着き、現在の室温、時刻、運転状態が表示されます。
1秒以上長押しすると、「POWER　OFF」となり、消火モードに入ります。

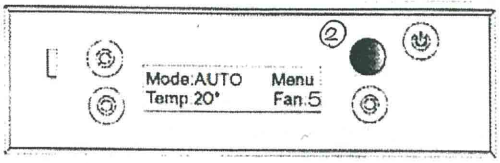


↓



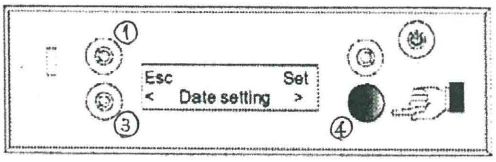
消火モードが終了した時点で全停止し、表示が「Off」と変わります。

☆「Menu」の使いかた



ボタン②を押してください。

↓



ボタン④もしくは③を押すと次頁の「メニュー　簡易早見表」の様に各種機能・設定項目に進むことができます。

◎ボタン①の「esc」を選択すると1つ前の表示に戻り、7秒間放置しますと、室温、時刻、運転状態の"基本表示"に戻ります。
◎設定途中で点滅表示したまま1分間放置しますと、前述の基本表示に戻ります。

「STAR」　操作部、メニュー　簡易早見表

1.運転モードの選択（手動運転「MAN」、自動運転「AUTO」）
　または、設定中の時のメニューから抜け出す際のボタンです。
2.メニューボタン（メインメニュー、サブメニューへのアクセスするためのボタン）
　または、設定時の決定する際のボタンです。
3.手動運転：火力レベルの設定ボタン（1～5まで）
　自動運転：設定温度の設定ボタン（長押しすると上下設定が可能になります。）
　他、メニューや設定値を変動させる為のボタンです。
4.送風ファンの送風レベルの設定ボタン（1～5、A（自動））
　他、メニューや設定値を変動させる為のボタンです。
5.運転スイッチ（1秒以上長押ししてください。）

MENU

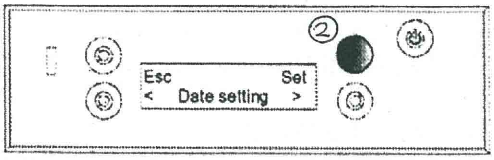
（②を押す）↓　（①を押す）↑

- Day settings（日付。時刻合わせ）
- **Chrono**（プログラムタイマー（週間プログラムの設定））※別紙参照
- **Sleep**（おやすみタイマー;運転スイッチをオンしているときのみ設定可）
- **Settings**（各種セット）
  - （②を押す）↓　（①を押す）↑
  - Language(初期設定は英語)
  - **Auto-Eco (ON - OFF)**（エコストップ運転のON/OFF）
  - **Tone (ON - OFF)**（ビープ音のON/OFF）
  - **Pellet recipe (-3 -2 -1 0 1 2 3)**（燃料供給微調整）
  - **Thermostat (ON - OFF)**（別売サーモスタット使用時）
  - **Screw loading (ON - OFF)**（燃料供給装置を常時動かしっ放しにする機能のON/OFF；運転スイッチをオフのとき のみ設定可）
  - **Technical menu**（パスワード必要 通常は使用しないモードです）
  - （④を押す）
- **INFO**（各種情報等）
  - （②を押す）↓　（①を押す）↑
  - Stove type
  - Hardware Code
  - Security　Code
  - Display　Code
  - Working Hour(累積燃焼時間)
  - Service
  - Smoke　fan　rpm（燃焼用送風機の回転数(rpm)）
  - Air Flow lpm(給気口からの空気流入量（lpm））
  - Smoke Temperature（排気温度（℃））
  - Pellet　Feed（燃料供給装置の動作時間（秒））
  - Exchange　Voltage（送風ファンへの印加電圧（V））
  - （④を押す）

（④を押す）

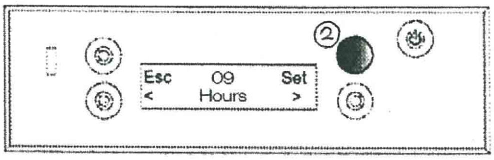
☆「Menu」の使いかた（各項目）

★Date　Setting（日付・時刻合わせ）について



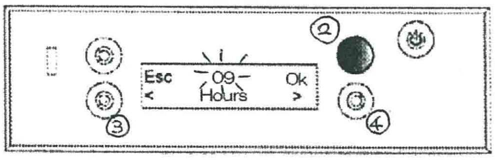
ボタン②で「Set」を選択します。

↓



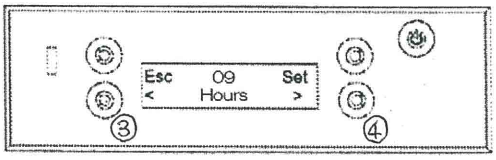
Hours（○○時）を設定します。
まず、ボタン②を押してください。

↓



ボタン③④で点滅している数値を選択し、決まりましたらボタン②「Ok」で決定します。
※③を押すと数値が減り、④を押すと数値が増えます。

↓



「Ok」が「Set」となり、数値の点滅がなくなります。

この表示状態で、ボタン③④を押すと、

Year（西暦○○○○年）

ボタン③↑

Hours（○○時）

ボタン③↑　　↓ボタン④

Minutes(○○分)

ボタン③↑　　↓ボタン④

Day（○曜日）　・・・・　Mo：月曜日

ボタン③↑　　↓ボタン④　　Tu:火曜日

Day　of　Month（○○日）　We:水曜日

ボタン③↑　　↓ボタン④　　Th：木曜日

Month（○○月）　Fr:金曜日

ボタン③↑　　↓ボタン④　　Sa:土曜日

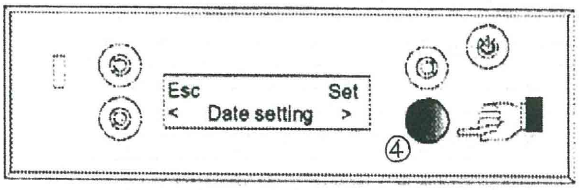
Year（西暦○○○○年）　Su:日曜日

↓ボタン④

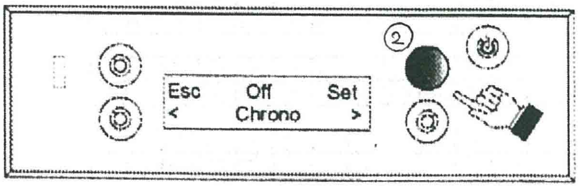
Hours（○○時）

◎「Hours（○○時）」の設定と同様にMinutes以降も設定し、全て完了しましたら、「esc」を押すか、７秒放置することで設定が完了します。

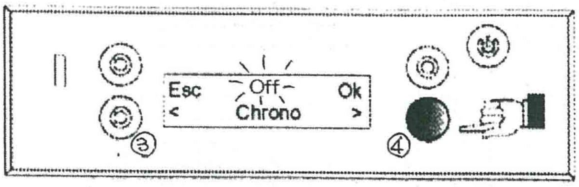
★Chrono（プログラムタイマー（週間プログラム））について



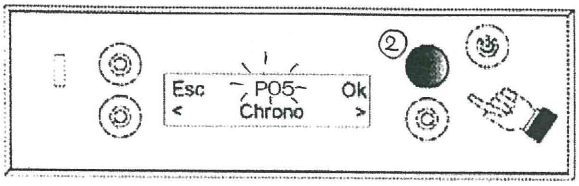
ボタン④を押し、「Chrono」を選択します。



ボタン②を押して、プログラム NO.の設定に入ります。

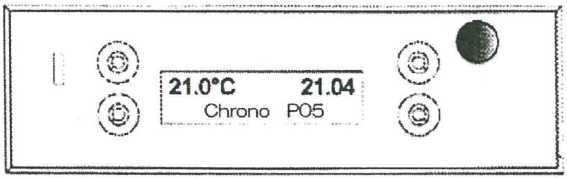


ボタン④もしくは③を押し、点滅しているプログラム NO.を選択します。



プログラム NO.を選択しましたら、ボタン②「Ok」で確定します。<後述の「通常の週間プログラム表」を参照>

「Ｏｋ」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。
「esc」を押すか、７秒放置することで設定可完了します。



設定がされていますと、図の様に「Chrono　POO」と運転状態（「On」など）と交互表示されます。

◎プログラムの設定を解除するときは、再度最初から設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

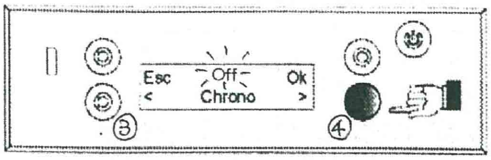
（通常の週間プログラム表：P01～P10）

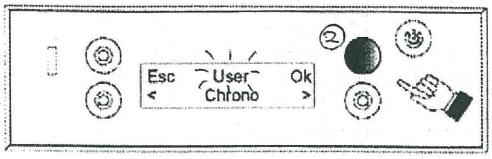
時間 / プログラムNo.	曜日	0.00	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00	9.00	10.00	11.00	12.00	13.00	14.00	15.00	16.00	17.00	18.00	19.00	20.00	21.00	22.00	23.00–0.00
P01	月-金							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	土日								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
P02	月-金							■	■	■									■	■	■	■	■	■	
	土日								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
P03	月-金							■	■	■				■	■	■			■	■	■	■	■	■	
	土日								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
P04	月-金					■	■	■	■				■	■	■				■	■	■	■	■		
	土日							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
P05	月-金						■	■	■					■	■				■	■	■	■	■	■	
	土日						■	■	■	■	■	■						■	■	■	■	■	■	■	■
P06	月-金						■	■							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	土日									■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
P07	月-土								■	■	■				■	■				■	■	■	■	■	
	日								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
P08	月-土								■	■	■									■	■	■	■	■	
	日								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
P09	月-土									■	■	■	■				■	■	■	■					
	日																								
P10	金																			■	■	■	■	■	■
	土日							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

■ プログラム作動中に、ストーブが動いている時間帯
□ プログラム作動中に、ストーブが停止している時間帯

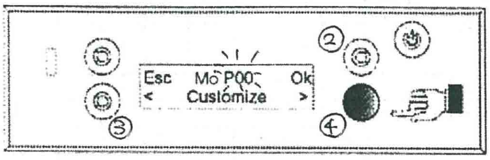
★Chrono（プログラムタイマー（週間プログラム））の User 設定について

前述のプログラム P01～P10 でお好みの時間帯がない場合、次のようにして月～日曜日まで１日ずつ設定することができます。
（１日ごとに 60 パターンのプログラムの中からお好みで選択して設定できます。詳しくは後述の「デイリープログラム表」を参照。）



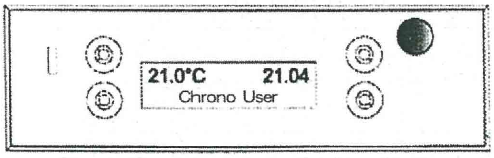


ボタン④もしくは③を押し、点滅しているプログラム NO.を選択する際に、P01～P10 でなく、「User」を選択してから、ボタン②で「Ok」に進んでください。



ボタン④もしくは③で各曜日ごとのプログラム NO.をデイリープログラム表（60 パターン）から選択し、ボタン②で「Ok」を押します。
次に「Tu　P00」と表示され、火曜日、水曜日・・・と順に同様に設定していき、日曜日まで設定してください。
「Ｏｋ」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。
「esc」を押すか、７秒放置することで設定完了します。

↓



設定されていますと、図の様に「Chrono　User」と運転状態（「On」など）と交互表示されます。

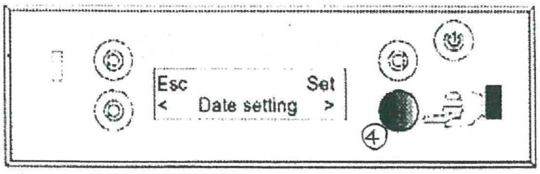
◎プログラムの設定を解除するときは、前述と同様に再度最初から「Chrono」の設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

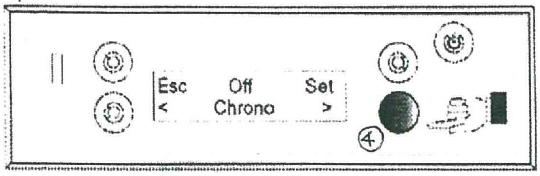
（ユーザーがお好みに応じて、日替わりで設定する為のデイリープログラム表）

時間 / プログラムNo.	0.00–1.00	1.00–2.00	2.00–3.00	3.00–4.00	4.00–5.00	5.00–6.00	6.00–7.00	7.00–8.00	8.00–9.00	9.00–10.00	10.00–11.00	11.00–12.00	12.00–13.00	13.00–14.00	14.00–15.00	15.00–16.00	16.00–17.00	17.00–18.00	18.00–19.00	19.00–20.00	20.00–21.00	21.00–22.00	22.00–23.00	23.00–0.00
00																								
01	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
02								■	■	■														
03							■	■	■															
04						■	■	■	■															
05												■	■	■	■									
06													■	■	■	■								
07													■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
08															■	■	■	■	■	■	■	■	■	
09																		■	■	■	■	■	■	
10																			■	■	■	■	■	■
11						■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
12							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
13								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
14								■	■	■		■	■	■	■									
15								■	■	■			■	■	■	■								
16							■	■	■			■	■	■	■									
17							■	■	■				■	■	■	■								
18						■	■	■	■			■	■	■	■									
19						■	■	■	■				■	■	■	■								
20								■	■	■								■	■	■	■	■	■	
21								■	■	■									■	■	■	■	■	■
22							■	■	■									■	■	■	■	■	■	
23							■	■	■										■	■	■	■	■	■
24						■	■	■	■									■	■	■	■	■	■	
25						■	■	■	■										■	■	■	■	■	■
26												■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	
27												■	■	■	■				■	■	■	■	■	■
28													■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	
29													■	■	■	■			■	■	■	■	■	■
30								■	■	■		■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	
31								■	■	■		■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■
32								■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
33								■	■	■			■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	
34								■	■	■			■	■	■	■			■	■	■	■	■	■
35								■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
36								■	■	■					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
37							■	■	■			■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	
38							■	■	■			■	■	■	■				■	■	■	■	■	■
39							■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
40							■	■	■				■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	
41							■	■	■				■	■	■	■			■	■	■	■	■	■
42							■	■	■				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
43							■	■	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■	
44						■	■	■	■			■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	
45						■	■	■	■			■	■	■	■				■	■	■	■	■	■
46						■	■	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
47						■	■	■	■				■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	
48						■	■	■	■				■	■	■	■			■	■	■	■	■	■
49						■	■	■	■				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
50						■	■	■	■						■	■	■	■	■	■	■	■	■	
51									■	■	■	■				■	■	■	■					
52										■	■	■	■				■	■	■	■				
53												■	■	■	■				■	■	■	■	■	■
54				■	■													■	■	■	■	■		
55				■	■											■	■	■	■	■	■	■		
56				■								■	■	■					■	■	■	■	■	
57									■	■									■	■	■	■	■	■
58								■	■									■	■	■	■	■	■	
59				■	■							■	■	■										
60							■	■				■	■	■				■	■	■	■			

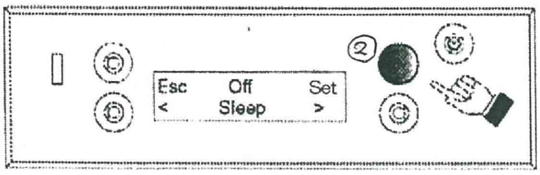
■ プログラム作動中に、ストーブが動いている時間帯
□ プログラム作動中に、ストーブが停止している時間帯

★Sleep（おやすみタイマー）について（運転「On」の時のみ設定可）

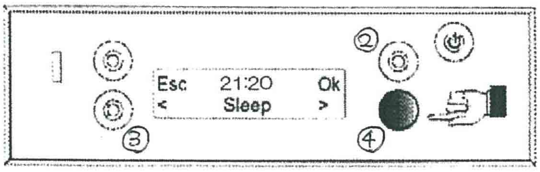




ボタン④を２回押し、「Sleep」を選択します。

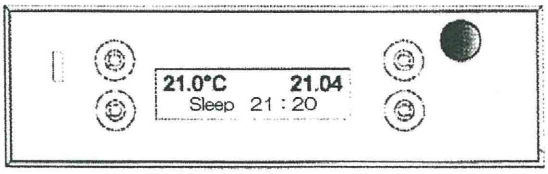


ボタン②を押し、セットに入ります。



初めに現在時間より 10～20 分後の時間が表示され、ボタン④を押すとさらに＋10 分後、ボタン③を押すと－10 分後の時間に変化します。
消火させたい時間が決まりましたら、ボタン②の「Ok」で確定してください。
「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。
「esc」を押すか、７秒放置することで設定完了します。

↓

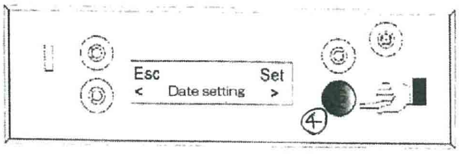


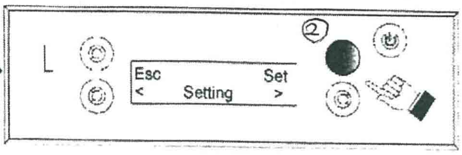
設定されていますと、図の様に「Sleep　（設定時間）」と運転状態（「On」など）と交互表示されます。

◎プログラムの設定を解除するときは、再度最初から設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

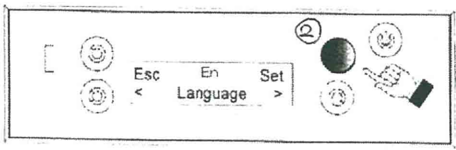
★Settings（各種セッティング）について

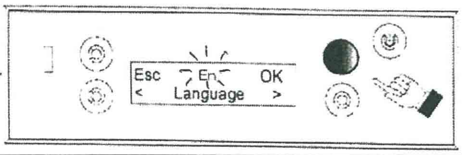
1）Language（表示言語）について





「Setting」からボタン②で「Set」に入ります。



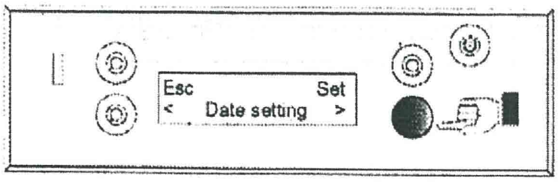


「Language」が表示されたらボタン②を押して、「En（English）」が点滅します。　ボタン③④でお好みの言語が選択できます。　※取扱説明書上の基本言語は英語表示にて説明をしています。
※日本語は表示できません。

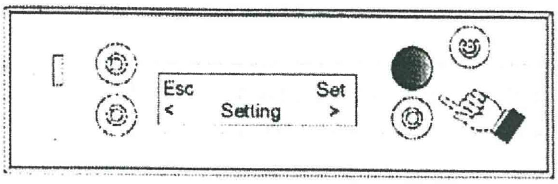
2）Auto-Eco　運転について

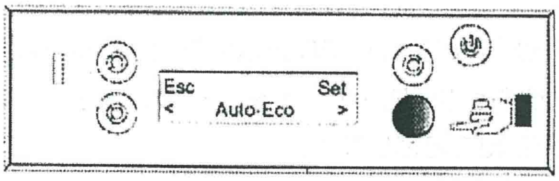
室温が設定温度に達しますと、最小火力（火力レベル 1）まで落ち、さらに室温が設定温度を超えた状態が一定時間を過ぎた場合、運転を一時的に停止させます。

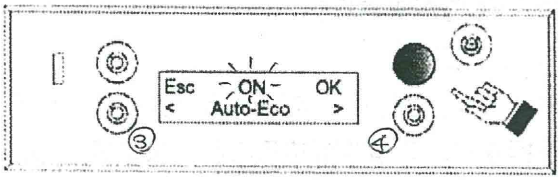
（一旦停止後、室温が設定温度より低くなり、ストーブが冷めるまで一定時間を経過した時に、運転を再開します。）



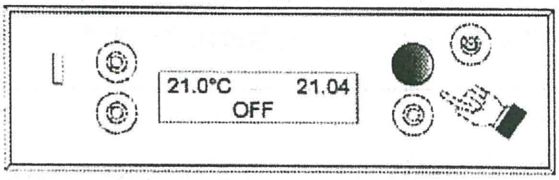
「Setting」から「Set」に入ります。



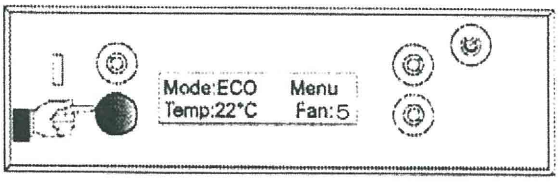




ボタン③④を押して、「On」を選択します。
「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。
「esc」を押すか、7 秒放置することで設定完了します。



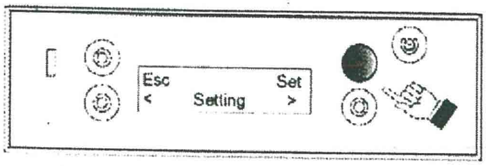
設定されていますと、図の様に Mode のところが「Eco」と表示されます。



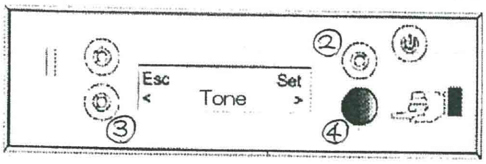
◎プログラムの設定を解除するときは、再度最初から設定をやり直し「Off」を選択してから「Ok」へと進んでください。

3）Tone（ピー音）について

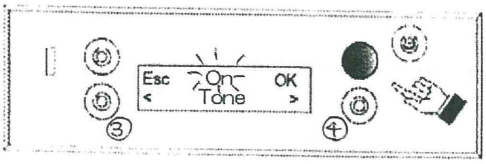
各ボタンを押したときに「ピー音」は出荷時は「Off」設定ですが、以下の様にして音を出すことができます。



「Setting」から「Set」に入ります。



ボタン③④を押して、「Tone」を選択して、ボタン②で「Set」に入ります。

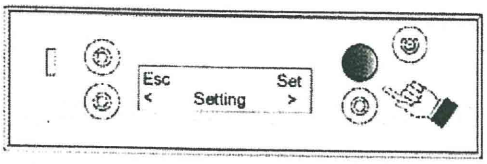


ボタン③④を押して、「On」を選択します。
「Ok」が「Set」となり、点滅表示がなくなります。

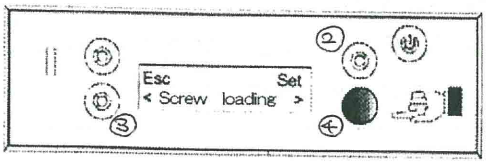
ボタン類を押すと、「ピー」が鳴るようになります。

4）Screw loading について

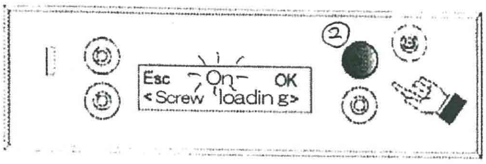
製品の使い始めや、シーズン初めの際、燃料供給経路に燃料が残っていない場合、燃料が燃料タンクから燃焼室までに送るのが時間がかかるので、点火までに時間が掛かります。
意図的に予め燃料を送り出して、すぐに燃焼バーナー内に燃料を供給できるようにする必要がある時に使います。
<u>※このモードは、運転「Off」時のみの表示・操作となります。</u>（運転中は表示しません）



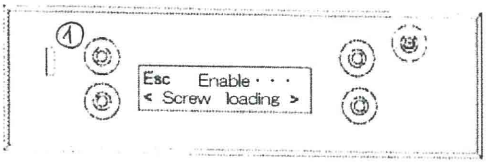
「Setting」から「Set」に入ります。



ボタン③④を押して、「Screw loading」を選択して、ボタン②で「Set」に入ります。



↓

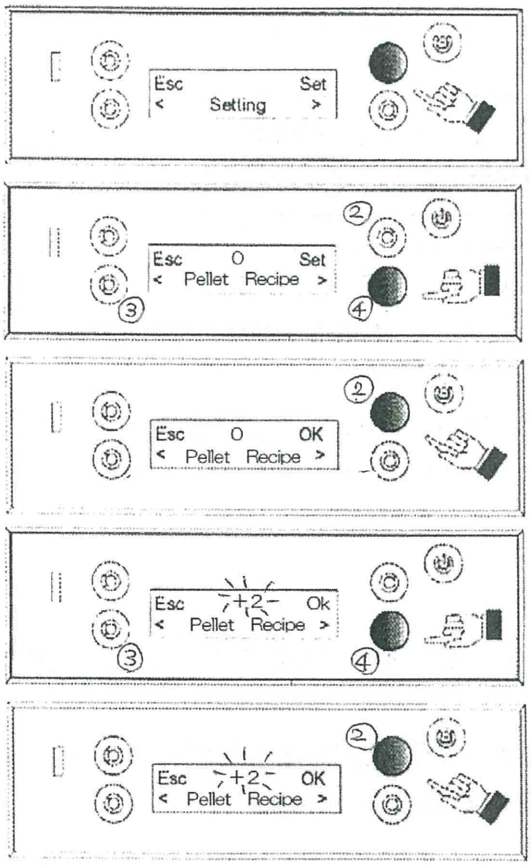


ボタン③④を押して、「On」を選択し、ボタン②を押すと、「Enable・・・」と表示され、燃料供給装置が動きっ放しとなります。
注）燃料が燃焼バーナー内に供給されてきましたら、即ボタン①の「esc」を押して止めてください。

5）Pellet　Recipe（燃料供給量　微調整）について

様々な質の木質ペレットに対し、必ずしも整合する燃焼にならない場合もあります。

また、過度に燃え過ぎたり、燃えなさすぎたりする燃料もありますので、燃焼室内への燃料供給量　を微調整することができます。



「Setting」から「Set」に入ります。

ボタン③④を押して、「Pellet　Recipe」を選択して、ボタン②で「Set」に入ります。

ボタン③④を押して、「—3～+3」を選択し、ボタン②を押すと、微調整の設定が完了します。

＋1～＋3：どの火力レベルに対しても基準の燃料供給量より多めに供給します。
（炎があまり上がってこない時、最小燃焼時に途中で立ち消えしてしまう場合などに選択します。）

—1～—3：どの火力レベルに対しても基準の燃料供給量より少なめに供給します。
（炎が上がり過ぎている時、または本体が過熱している時などに選択します。）

灰処理のしかた

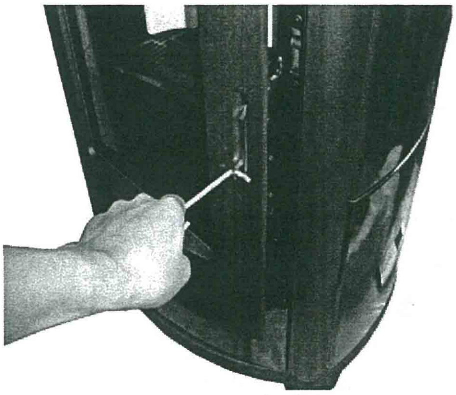
◉必ず消火後、ストーブが完全に冷えた状態でおこなってください。

◉灰は木灰として、菜園などに有効に活用できます。

廃棄物として廃棄する場合、各市町村によって回収方法が異なりますので、各市町村にご確認ください。

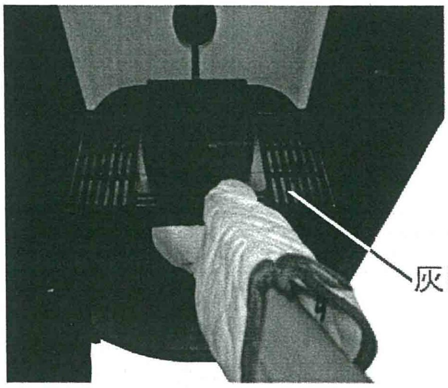
1 燃焼室扉を開ける。

燃焼室扉を図のようにして開けてください。



2 灰トレイを引き出す。

灰トレイを図のように引き出してください。



お願い

灰トレイは消火後もしばらくの間は高温ですので、灰処理は灰トレイが完全に冷えたことを確認してからおこなってください。

3 灰トレイの灰を金属容器などに入れてから除去する。

容器に入れた灰は、完全に冷えた状態で処分してください。

4 灰トレイを元に戻す。

2項で引き出した灰トレイを元に戻してください。

5 燃焼室扉を閉める。

安全装置

★安全装置が作動するのは何らかの異常があるときですから、下記の処置をしても正常にならないときは、販売店にご相談ください。

★再点火操作とは、いったん、「運転スイッチ」を「OFF」にして、操作表示部が「OFF」表示してから、再度、「運転スイッチ」を「ON」にすることをいいます。

安全装置名	はたらき	処置
点火安全装置	●運転スイッチを「入」にして15～17分経過しても着火しない場合、燃料供給と点火ヒーターを停止させる安全装置です。	●何回も再点火操作をしたときは、燃焼バーナーに燃料がたまっています。たまった燃料を取り出してから再点火操作をしてください。 ●燃料タンクに充分燃料があるか確認してください。 ●燃焼バーナーの穴が目詰まりしていないか、排気経路に灰が詰まっていないかを確認してください。
燃焼制御装置	●燃焼中に炎が消えたとき、自動的に運転を停止させる安全装置です。	
停電安全装置	●運転中に停電や電源プラグを抜くなどしたときは、自動的に運転を停止します。	●再通電後に再点火操作をしてください。
過熱防止装置	●長時間最大火力で燃焼を行なったり、異常燃焼などでストーブが異常過熱したとき、火災などの危険を防ぐために燃焼を停止します。	●異常過熱の原因を除いてから、再点火操作をしてください。 ●送風レベルを「5」にしてください。 ●一旦冷ましてから再点火操作をしてください。
電気安全装置	●運転中に何らかの原因で本体に過電流が流れた際に、ヒューズによりコントローラ基板を保護します。	●本体内のヒューズケースからヒューズを交換してください。 (販売店にご相談ください。)
故障時安全装置	●電装部品が故障した際、燃料供給を停止したり、冷却させる様に運転制御し、エラーメッセージ表示します。	●対象部品の交換をしてください。 (販売店にご相談ください。)
空気流量監視装置	●排気側(排気筒·排気筒トップ)が何らか詰まったり、逆風による逆圧がかかる、もしくは排風装置の不具合等で排気圧が弱くなった場合、燃焼を停止します。 ●燃焼室扉が燃焼中に開いた場合、燃焼を停止します。 ●本体の空気取入口がホコリ等で詰まってくると、燃焼を停止します。	●燃焼室の上部が灰等で閉塞されていないかどうか、確認してください。 ●室外の排気筒トップが閉塞されていないか確認してください。 (販売店にご相談ください) ●燃焼室扉を確実に閉め、再点火操作をしてください。 ●本体の空気取入口の詰まりの原因を除去してください。

点検・手入れ

定期点検のおすすめ（1シーズンに1回程度）

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器の寿命をより長く、より良い燃焼で快適に安全にお使いいただくために、１シーズンに１回程度、シーズン終了後などに、販売店、又は弊社指定店などに点検を依頼してください。

日常の点検・手入れ

お願い

★点検・手入れをするときは、必ずストーブを消火し、電源プラグをコンセントから抜いて、ストーブの温度が充分下がってからおこなってください。やけどや感電をするおそれがあります。
★部品に触るときや、内部を掃除するときは、手をけがしないように、付属品の手袋等をはめておこなってください。
★ストーブをベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。
★電装品や燃焼バーナー受けの取りはずし、分解はおこなわないでください。

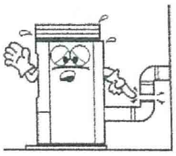
～各部の点検・手入れのめやす～

手入れ時期 / 点検項目	1日	2～3日	1ヶ月	～3ヶ月	1年～
燃焼バーナー内	●				
灰トレイ内の灰の除去		●（24ページ参照）			
燃焼室扉ガラスの清掃		●			
燃焼用送風機内の清掃				●	
燃焼室扉のガスケットのチェック、もしくは交換					●
空気取入口（給気口）の清掃			●		●
排気筒内の清掃					●
リモコンの乾電池の交換					●

シーズンはじめ

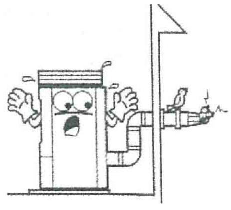
給気筒・排気筒

●給気筒・排気筒の接続箇所が外れていないか確認してください。



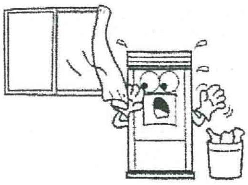
排気筒トップ

●室外の給気筒トップ・排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか確認してください。



使用のたびに

周囲の可燃物

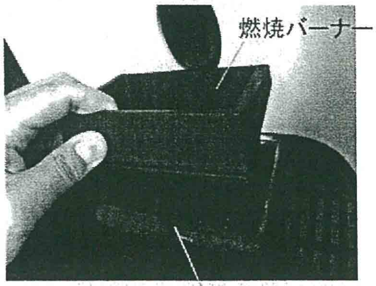


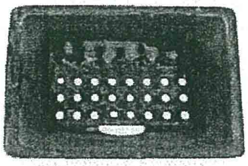
●ストーブの周囲は、常に整理、清掃し、燃えやすいものを置かないようにしてください。
●ストーブはいつも清潔に掃除してください。
汚れたままのご使用は危険のもとですし、ストーブのいたみを早めます。
●給気筒・排気筒・給気筒トップ・排気筒トップの周囲には、危険物や障害物がないようにしてください。

燃焼室の燃焼バーナーに溜まった燃焼殻、灰の除去

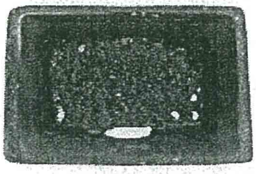
●使用時間や燃料の質・状態によって灰量は異なります。
燃焼室内の燃焼バーナーに灰が溜まっていないか確認してください。
●10ページ4項のように燃焼室扉を開けてから、図のように燃焼バーナーを燃焼バーナー受けから取り出してください。
掃除用ホウキなどで燃焼バーナー内及び燃焼バーナーの穴を掃除してください。
★燃焼バーナーに灰が詰まった状態で燃焼をおこなうと着火しにくくなります。
また、燃焼に必要な空気が充分に取り入れることができなくなり、不完全燃焼の原因になります。
●燃焼バーナー受けの中の燃え殻や灰も掃除機等で除去してください。

注意）メンテナンス後は燃焼バーナーを燃焼バーナー受けに確実に納めて、必ず燃焼室扉を確実に閉めてください。





きれいな燃焼バーナー内



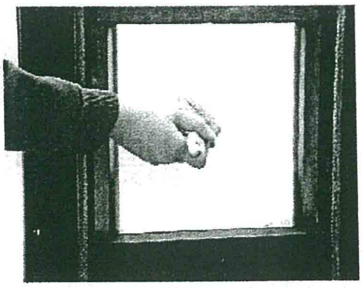
汚れている燃焼バーナー内

2～3日に1回以上

燃焼室扉ガラスのクリーニング

●燃焼室扉ガラスは乾いたブラシの使用を推奨しますが、汚れが著しい場合は、スプレー洗浄液少量吹き付け、布で拭き取ってください。

注意）研磨剤は極力使用しないでください。また塗装された部分のガラスやガスケットにはクリーニング剤を吹き付けないでください。



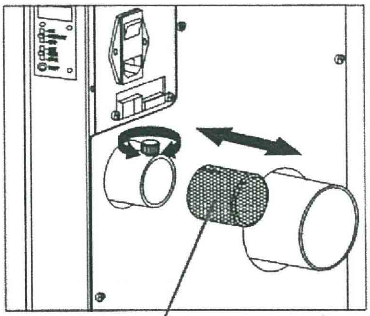
1～3ヶ月に1回

空気取入口（給気口）のクリーニング

●弊社「基本給気筒セット（N）」など、壁を貫通させて外部からの空気を取り込む場合、屋外の空気吸入口付近に設けてあるエアフィルターに詰まっているホコリやごみ等を除去してください。
●屋内給気の場合は、右図のように必ず金属メッシュ状のエアフィルターを外して、付着しているホコリやごみを除去してください。掃除後は必ずエアフィルターを再装着してください。

注意）エアフィルターを装着しないと、モーターや内部センサーに汚れが付き、異常をきたすことがあります。

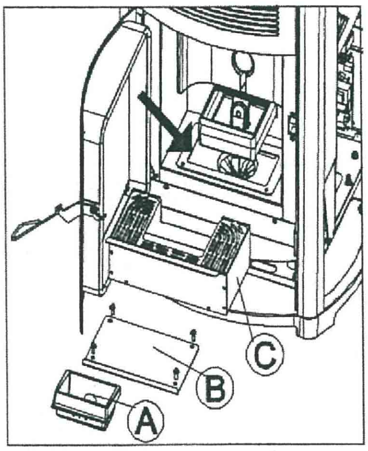
フィルターは柔かく手で変形し易いので、誤って破損しないよう注意してください。



エアフィルター（金属メッシュ製）

燃焼用送風機内のクリーニング

●燃焼室扉を開き、図のようにまずA（燃焼バーナー）を取り外し、次にC（灰トレイ）を取り外し、工具にてBのプレートについている4ケのネジを取ってプレートを取り外すと、矢印の燃焼用送風機の内部が見えてきます。
●送風機内のファンに溜まった灰やススなどを全て掃除機で除去してください。
●Bを元に戻してから、A, Cも元に戻してください。



1シーズンに1～2回以上

電源プラグ、コンセント

●電源プラグ、コンセントにほこりや汚れが溜まると火災の原因になることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

給気経路・排気経路の清掃

●ほこりやススなどの汚れが給気経路・排気経路に蓄積すると、燃焼に悪影響する場合があります。販売店にご相談して定期的に掃除するようにしてください。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

異常のお知らせ（エラーメッセージの見かた）

安全装置が作動すると、本体上面の操作表示部にエラーメッセージが表示されて、自動停止します。

繰り返し表示するときや再運転しないときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

エラーメッセージ	エラーメッセージの意味	処置方法
A01	点火できない	●燃料タンク内に燃料が入っているかを確認する ●燃焼バーナーがバーナー受けに正しく収まっているかを確認する ●燃焼バーナーとバーナー受けを取り出し、点火ヒーターが赤熱しているかを確認する
A02	燃焼中に失火して運転停止する	●燃料タンク内の燃料切れ、または燃料タンク内の中央部のみアリ地獄状に減っているかどうかを確認する 燃料の補充をするか、均一にならす
A03	燃料タンク周囲など本体内が高温となっている	●長時間に渡り最大火力で燃焼した場合、しばらく放置して冷めた後に再スタートする ●換気が不充分の場合、換気後再スタートする ●対流ファンが回っているか（本体上部から温風が出ているか）を確認する ☆ストーブが充分に冷却された後に、上面の操作表示部のスイッチを「OFF」にすると、アラーム表示「A03 」は解除されます。対流ファンを「5」にする
※状況により表示が変わることがあります A04	排気温度が異常に高温となる（設定火力以上に炎が大きく燃えあがっている など）	●冷却してから再スタートする ●燃焼状態を確認し、異常に立炎していたり、扉ガラスにススなどが付着する場合、排気経路を確認する ●電源電圧が正常かどうかを確認する ●使用燃料を確認し、必要に応じ他燃料に替えて燃焼する
A06	燃焼用空気の不足（燃焼バーナーへの燃焼用空気供給不良）	●排気経路、もしくは燃焼バーナー内に燃え殻等が溜まっているかどうかを確認する 排気経路、燃焼バーナー内を清掃する
A07	運転中に燃焼扉を開けたとき 排気経路や空気取入口が詰まったとき	●燃焼扉を確実に閉める ●排気経路、空気取入口を清掃する
A08	燃焼用送風機のファンが回らない（破損、もしくはロックされている）	●燃焼扉を開け、灰トレイを取り出し、４本のネジで止まっている板を外し、燃焼用送風機の中を確認する 異物や灰のかたまりなどで送風機の羽根がロックされている場合は、除去し、清掃する
A09	燃焼用送風機の排気温度センサーの故障	●配線の接続不良、断線がないかを確認する ●センサー自体を交換する
A10	点火用ヒータの故障	●配線の接続不良、断線がないかを確認する ●点火用ヒーター自体を交換する
A11	燃料供給装置用モータの故障	●配線の接続不良、断線がないかを確認する ●モーター自体を交換する
A13	コントローラ基板の故障	●基板を交換する
A14	センサー類の故障	●販売店にご相談下さい。

☆各項目で発生したアラーム表示は、上面の操作表示部のスイッチを「OFF」にすると解除できますが、処置が不充分の時は解除できずに表示はそのままとなります。

●諸項目を確認し、処置されてもなおらない場合は、使用を中止し、販売店又は弊社指定店にご相談ください。
●部品の交換が必要な症状の場合も、販売店又は弊社指定店にご相談ください。

故障かなと思ったときに

現象／原因	ストーブが動かない	点火しない	炎が立ち上がらない	炎が大きくならない	燃焼中に自動停止する	使用中立消えする	スタートして数分後に停止する	燃焼バーナー内に燃え殻が堆積する 燃焼扉ガラスが汚れ、炎が弱々しい	リモコンが作動しない	「AUTO」(自動運転)で常に最大火力のままで作動し続けている	処置方法
電源プラグをコンセントに差し込んでない	○										電源プラグをコンセントに差し込む
過熱防止装置が作動した	○				○						本体を冷ましてから再点火する
停電した	○										停電復帰後再点火操作する
排気・給気経路が詰まっている	○	○			○			○			配管や排気口を清掃する 本体の給気取入口を確認する
ヒューズがとんでいる	○										ヒューズを交換する
燃料タンクに燃料がない タンク中央のみ無くなっている		○				○					燃料タンクに燃料を供給する タンク内の燃料を平らにならす
燃料供給装置のらせん状部がロックして燃料供給できない		○									燃料タンク内を一旦空にしてロックする原因物をとる
電装部品の故障 電気配線の損傷		○			○		○	○		○	対象の部品を交換する
燃料タンク底に粉が溜まっている		○	○	○		○					掃除機等により、燃料タンク底に溜まった粉を除去する
内蔵の温度センサーが作動した					○						本体を冷ましてから再点火する
燃焼扉が閉まっていない ガスケットが摩耗した		○			○			○			燃焼扉を確実に閉める ガスケットを交換する
推奨外燃料及び湿った燃料を使った		○	○	○	○	○		○			乾燥した推奨燃料に入れ替える
初期運転時(スイッチONして約15～17分間)で点火がうまくいかなかった							○				一旦本体スイッチをオフして、再スタートする
燃焼用空気が不足している 燃焼室内、燃焼バーナー内に燃え殻や灰が溜まる		○	○		○			○			部屋の空気取入口(換気口など)、本体の空気取入口にホコリなどの障害物が無いかを確認する 燃焼バーナーの穴が目詰まりしていないかを確認する 排気経路を清掃する
電池切れ リモコンの故障 本体から5m以上離れて操作している									○		リチウム電池CR2025)を交換する リモコンを交換する 本体に近づいてから再度操作する
リモコンの設定温度が最大値にセットされている										○	設定温度を下げる

●処置されてもなおらない場合は、使用を中止し、販売店又は弊社指定店にご相談ください。
●部品の交換が必要な症状の場合も、販売店又は弊社指定店にご相談ください。

部品交換のしかた

部品交換のときの注意

●部品交換や修理をお受けになる場合は、販売店もしくは弊社指定店で修理されることを推奨します。
★不完全な修理は危険です。
★故障したものは使わないでください。

●短時間に消耗する部品は特にありませんが、交換部品が必要な場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。
★部品は必ず純正部品をご使用ください。
★部品を交換するときは、ストーブを消火し、ストーブが充分冷えてから、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

保管のしかた（長期間使用しない場合）

★ストーブを保管する場合は、26ページ ▶点検・手入れ の項を参照して、ストーブの手入れをしてから保管してください。
★いたんでいる箇所は、必ず修理をしてから保管してください。

1 ストーブを消火し、ストーブが充分冷えてから、電源プラグをコンセントから抜く。

2 燃焼バーナー内、燃焼室内、灰トレイ内、電源プラグに付着した灰、ほこりや汚れを固くしぼった濡れ雑巾などで取り除く。

3 器具の表面をよくふいて、汚れを取る。

●固くしぼった濡れ雑巾や、薄めた中性洗剤液で汚れを取り、乾いた布で水気をふき取ってください。（シンナー、ベンジン等ではふかないでください。）

4 ストーブは据付けたまま保管する。

●取り外して保管するときは必ず販売店もしくは弊社指定店に依頼し、湿気の少ない所に保管してください。
★取扱説明書を必ず保管してください。

廃棄するとき

⚠注意	ストーブを廃棄処分するときは、必ず燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。 燃料が入ったまま廃棄するとリサイクルの際思わぬ事故が発生するおそれがあります。	❗ 指示

★燃料タンク内の燃料の抜きかたは下を参照してください。

燃料タンク内の燃料の抜きかた

大量に残っている場合は、燃料タンクから抜き取ってください。　特に燃料タンク底に木粉が溜まっている場合は、掃除機等で必ず除去してください。　少量の場合は、運転させて燃やしきってください。

仕　様

名称		STAR（スター）
区分		半密閉式ペレットストーブ
種類		
	給排気方式	強制排気形
	用途別方式	強制対流形
使用燃料		木質ペレット[※1]
点火方式		電気点火（温風点火式）
発熱量[※2]	最大	8．0kW（6，900kcal/h
	最小	2．4kW（2，100kcal/h）
熱効率		（最大燃焼時）92％　（最小燃焼時）94％
暖房出力[※2]	最大	7．4kW（6，370kcal/h）
	最小	2．3kW（1，980kcal/h）
燃料消費量[※2]	最大	1．8 kg/h
	最小	0．6 kg/h
外形寸法（キャビネット寸法）	高さ	1057mm
	幅	520mm
	奥行	530mm
質量		135kg
燃料タンク容量		25 kg
電源電圧		AC100V 50／60Hz
定格消費電力	点火時	420W
	燃焼時	80W
安全装置		停電安全装置、点火安全装置、過熱防止装置、電気安全装置、故障時安全装置、燃焼制御装置、空気流量監視装置
附属品		リモコン、燃焼扉開閉用器具

※1　使用燃料は弊社推奨燃料（ホワイトペレット）をご使用ください。

それ以外の燃料でのご使用は燃焼不良を起こしたり、途中失火したり、エラーで止まることがあります。　弊社、および販売店にてご相談ください。

※2　燃料の状態により発熱量・暖房出力・燃料消費量が異なることがあります。

アフターサービス

保証について

★保証期間はお買い上げの日より１年間です。

修理を依頼するとき

● **故障・異常の見分けかたと処置のしかた**（29ページ）に従って、お調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、もしくは弊社指定店にご連絡ください。
●ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
　① 品名…半密閉式ペレットストーブ
　② 名称… STAR（スター）
　③ お買上げ年月日
　④ 故障の状況（できるだけ具体的に）
　⑤ おなまえ・おところ・電話番号
●裏表紙の規定にしたがって、販売店、または弊社指定店が修理させていただきます。
●保障期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
●修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

この取扱説明書に表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障、事故につきましては、保証いたしません。

補修用性能部品について

★ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後７年です。
●補修用性能部品とは、ストーブの機能を維持するために必要な部品です。

⚠注意	故障・破損したら使用しないでください。 不完全な修理や改造は、危険です。	分解禁止

⚠注意	修理、引越しなどでストーブを運搬される時は、燃料タンク内の燃料を抜いてください。	確認

故障・修理の際の連絡先

アフターサービスについてわからない場合は、販売店、または弊社指定店、裏表紙の販売元までお問い合わせください。

据付け・移設について

●ストーブを設置する場所には、建築基準法や電気設備に関する技術基準、消防法に基づく火災予防条例に定められた設置をする必要があります。
●施工上の責任は当社では負いかねます。

■据付け・移設工事は弊社指定店に依頼する。

据付けや移設工事は弊社指定店に依頼し、お客様ご自身ではおこなわないでください。

【無料修理規定】

1．取扱説明書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買上げの販売店または弊社指定店が無料修理致します。
2．取扱説明書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合は、販売元までお問い合わせください。
3．保証期間内でも、次の場合は有料になります。
　(イ)取扱説明書の注意事項に従わない誤った使用、及び不当な修理や改造による故障や損傷。
　(ロ)お買上げ後の、器具の転倒、落下、衝撃・輸送等による故障や損傷。
　(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧、公害その他環境要因による故障や損傷。
　(ニ)推奨外の燃料の使用による故障や損傷。
　(ホ)部品の消耗による故障や損傷、部品交換及びメンテナンスの費用。
4．本書は日本国内においてのみ有効です。

見本

保証書

保証期間　本体１年間

※お買上げ日　　年　　月　　日

※お客様　ご芳名　　様

〒□□□-□□□□

ご住所

〔電話　（　　）　〕

本保証書は本書記載内容（上記）により無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間内に故障が発生した場合は、本書をお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※販売店 住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

愛情点検　★長年ご使用のペレットストーブの点検を！

●ペレットストーブの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●炎が異常に黄色い。 ●予熱時間が異常に長い。 ●運転中異常な音がする。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型式	STAR(スター)	お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名	（電話番号）（　　）　－		